

**製品名: CREB-2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09377**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATF4
別名	ATF4; CREB2; TXREB; Cyclic AMP-dependent transcription factor ATF-4; cAMP-dependent transcription factor ATF-4; Activating transcription factor 4; Cyclic AMP-responsive element-binding protein 2; CREB-2; cAMP-responsive element-binding prot
遺伝子 ID	468.0
SwissProt ID	P18848
免疫原	CREB-2 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 160-240

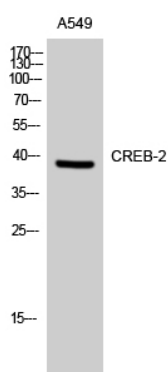
**背景**

活性化転写因子 4 (ATF4) Homo sapiens この遺伝子は、HTLV-1 の LTR にある tax 応答性エンハンサーエレメントに結合できる、広く発現している哺乳類 DNA 結合タンパク質として最初に同定された転写因子をコードしています。コードされているタンパク質はまた、cAMP 応答エレメント結合タンパク質 2 (CREB-2) として単離され、特徴付けられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AP-1 ファミリーの転写因子、cAMP 応答エレメント結合タンパク質 (CREB)、および CREB 様タンパク質を含む DNA 結合タンパク質ファミリーに属します。これらの転写因子は、DNA 結合ドメインとして機能する一連の塩基性アミノ酸の C 末端に位置し、タンパク質間相互作用に關与するロイシンジッパー領域を共有しています。同じタンパク質をコードする 2 つの代替転写産物が記載されています。2 つの偽遺伝子は、大きな逆位重複を含む領域の X 染色体 q28 に位置しています。[providfunction:転写活性化因子。多くのウイルスおよび細胞プロモーターに存在する配列である cAMP 応答配列 (CRE) (コンセンサス配列: 5'-GTGACGT[AC][AG]-3') に結合する。HTLV-1 の長末端反復配列 (LTR) 中の Tax 応答性エンハンサー配列に結合する。、類似性: bZIP ファミリーに属する。、類似性: 1 つの bZIP ドメインを含む。、細胞内局在: 海馬ニューロン樹状突起膜において GABBR1 と共局在する。、サブユニット: GABBR1 の C 末端 bZIP ドメインのロイシンジッパーを介して、GABBR1 の C 末端領域と相互作用する。GABBR2 の C 末端領域と相互作用する (類似性による)。ホモまたはヘテロ二量体として DNA に結合する。CEP290 の N 末端領域と相互作用する。、

## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;長期増強;神経栄養因子;GnRH;前立腺癌;

## 画像データ



CREB-2 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析